

新型コロナ感染症・ヘルパンギーナ・熱中症対策について

5月から新型コロナ感染症が5類になり、詳細な感染者数は発表されていませんが、三原市内で小学校・中学校を問わず学級閉鎖などが行われおり、また、県全体としても増加傾向にあることは間違いありません。

また、いわゆる夏風邪であるヘルパンギーナが西部東地区で定点あたりの患者数が9.17で、東部地区でも3.0となり「ヘルパンギーナ警報」が7月13日付けで広島県から発令されました。

さらには、35度を超える最高気温が続き熱中症患者も増加傾向で、熱中症警戒アラートが出されたりする毎日です。

いずれの場合も、5月以前には十分注意し実施していた感染症対策を再度実施することで予防することは可能だと考えます。

夏休みも間近となりましたが、各家庭・各チームでの練習や試合などでも、再度、以下の基本的な対策を行い、ようやく厳しい制約や規制なく開催されている連盟事業やカップ戦などができなくならないよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

- ①うがい・手指消毒
- ②定期的な換気
- ③休息・休憩時間の確保
- ④十分かつこまめな水分補給

2023年7月17日

広島県バスケットボール協会 U12 部会尾三地区
地区部会長 藤本 芳之